



Q 高額な用地の価格では

A 不動産鑑定 of 適正価格

桜井 博義 議員



工事が進む(仮)巣子新駅

Q1

1月の地元説明会は事業の見直し、中止を求める意見で占められたが住民の声をどう認識しているか。高額な用地取得は周辺地価をつり上げたことにならないか。周辺土地の高騰はまちづくりに支障をきたさないか。問題の土地はすでに村と契約したが、意欲をもって農業されたのか。農産物の売り上げはあったのか。

A1

パークアンドライドの推進で駅の利用を図ります。「事業の見直し」という意見の方には理解をいただけるよう努めます。民間開発の取引事例を参考に不動産鑑定を実施し、適正な価格で取得します。許可後に麦を作付けされていますので耕作意欲はあったものと判断しており、農産物の売り上げは報告義務がありません。国庫補助金によるまちづくり事業を導入し、市街化区域編入と平行して駅関連施設に関する設計、測量及び土地評価を実施し、村は用地取得に特定の人物を経由していません。

Q2

耐震診断による学校整備は
村内の学校は計画的に整備されていますが、耐震診断の結果、滝沢南中学校が急を要し改築が予定されています。

耐震診断は1校のみの実施にとどまっていますが、今後の計画はどうなっているのか。また、姥屋敷小中学校は、整備計画に改築が必要となっていますが、今後のスケジュールを伺います。

A2

耐震診断が必要とされる施設は4校となっています。滝沢南中学校北校舎事業が完了後に計画的に進めます。

姥屋敷小中学校の児童生徒数はここ数年横ばい状況にあります。村内でもっとも古い校舎になっており、要望を聞きながら補修工事をしていきます。

学校の現状を踏まえ、地域と共に総合的に検討していきます。